

先進事例検索システム

事例No.	1355
公表年度	R2
団体の属性	市区
団体名	兵庫県伊丹市

事例区分 (大)	公共施設管理
-------------	--------

事例区分 (小)	公共施設等総合管理 計画
-------------	-----------------

事例種類	集約化・複合化事業
------	-----------

事例内容・タイトル

総合ミュージアム等複合化事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和2年7月）

集約化・複合化事業 ⑩

事業の概要

兵庫県伊丹市(人口19.7万人)「総合ミュージアム等複合化事業」

老朽化が進む、美術館や工芸センター等からなる市立複合施設「みやのまえ文化の郷」と市立博物館を、伊丹市の歴史・芸術・文化を発信する新たな拠点複合施設「総合ミュージアム」として再整備する。また、併せて、有効に活用されていなかったスペースを活用し、市立博物館の歴史収蔵庫の移転整備を行う。

事業のポイント

- ①各施設の一体利用
- ②施設の魅力向上・まちのにぎわい
- ③ユニバーサルデザイン
- ④機能回復・向上、老朽改修



老朽化

市立博物館

+ 複合化



老朽化

みやのまえ文化の郷

歴史収蔵庫を移転



総合ミュージアム



歴史収蔵庫

複合化 +

スペースを有効活用



自転車駐車場

事業実施期間: R元～R3年度
総事業費16.9億円

事業の効果

- 歴史・芸術・文化施設を「総合ミュージアム」として一体的に整備することで、各分野の連携による新たな魅力や価値を創出するとともに、観光分野の強化にもつながる。
- 老朽化した博物館を除却し、既存施設に複合化することで、維持管理経費が削減できる。また、設備(照明、空調、エレベーター等)の改修・更新を行うことで、施設の長寿命化や利用効率化が図られる。

再編前

施設名	延床面積
みやのまえ文化の郷 (美術館、工芸センター、 伊丹郷町館、柿衛文庫)	5,332㎡
博物館	1,857㎡
平松自転車駐車場	1,604㎡
合計	8,793㎡



再編後

事業名	延床面積
(新)総合ミュージアム	5,948㎡
(新)総合ミュージアム(歴史収蔵庫)	383㎡
平松自転車駐車場	1,221㎡
合計	7,552㎡